

水源禅師法話集 130

(2025年10月インド巡礼)

2026年3月31日

一乗禅の会



目次

水源禪師法話

インド巡礼	3
カクサンダ仏陀の遺跡	4
先祖供養の大切さ	6
危うい世界	8
特別な料理	11
何処かのゲストハウスにて	14
裸足の秘密	16
断食は週に一度で十分	17
私たちの身体はミラクル	18
兜率天に行きたい	19
達磨大師さまも龍樹菩薩さまも生きている	22
頭頂部の盛り上がり	24
騰騰不造悪	25



アーナンダ尊者のストウパにて

水源禪師法話

インド巡礼にて

弟子の John がギリシャのセントジョンズ島で千冊書いたわけですね(John the Apostle 6AD-100AD, インド仏教の黄金時代)。色々とキリスト様のことを書き上げました。その中で三代目の Bishop 司教が930冊燃やして、残ったのが70冊でバチカン市国の図書館に禁断の書となっています。何故かと言ったら、これは非常に有名なバチカンのお坊さんが知っている Book of Seventy の話。【Baruch Spinoza, AD 1632-1677: ehyer asha ehyeh (Hebrew),私の名前は I am who I am (絶対的なもの) と Bush Fire がモーゼに告げました、と三千年の誤訳を I am who will be (因果による) と文法を正しました。そして大自然の仏性にたどり着きました。 Jalal al Muhammad Rumi, AD 1207-1273: Who am I, I am no Name と大自然の仏性にたどり着きました。世界の三代宗教の根源は仏教の教えであります。】

つまり、とてもインド的だから、そういう事で消してしまう。だから、そこまで解明せずに非常に重要な事を解説してしまったら、昔から今まで悲惨な戦争が絶えないわけです。ローマ帝国の時代からずっと、なんぼでも殺し合いやって。第一次世界大戦、第二次世界大戦、今度、第三次世界大戦が発生せざるをえない状況まで続けている。

これで、原爆が爆発したら、これで人類は完全に滅亡。6000 年前にそれをやったみたいで、今でもモヘンジョダロはパキスタンの所にあるのだけれど、非常に高度な文明が発達したけれど、核爆発してラディエーション(放射能)が今でも強烈。

それから、ペルーのインカも radiation gold と言って、ゴールドを身に着けたら死廃、ラディエーションで全部死滅しています。だから、地球、この地上では 1 回、2 回、何回もこんな馬鹿な事やっているわけ。頭が良いどころではなく、AI を使って今度、人間は完全に滅びると。

でも、この DNA は一旦出来たから、消えない。宇宙的なものだから。また、どこかで再生して上がってくる。実は、私がスリパーダ、スリランカで護摩焚きやった時、天界が朝から晩までずーっと見ているわけ。ずーっと私を。動かないで目先のだけ青い空で。それで私が護摩焚き終わったら、一瞬にして 2600m のあの山がね、全部の雲がパッと晴れて。それで、東の方から月が上がって、西の太陽が見えたわけ。で、星も輝き始めて。

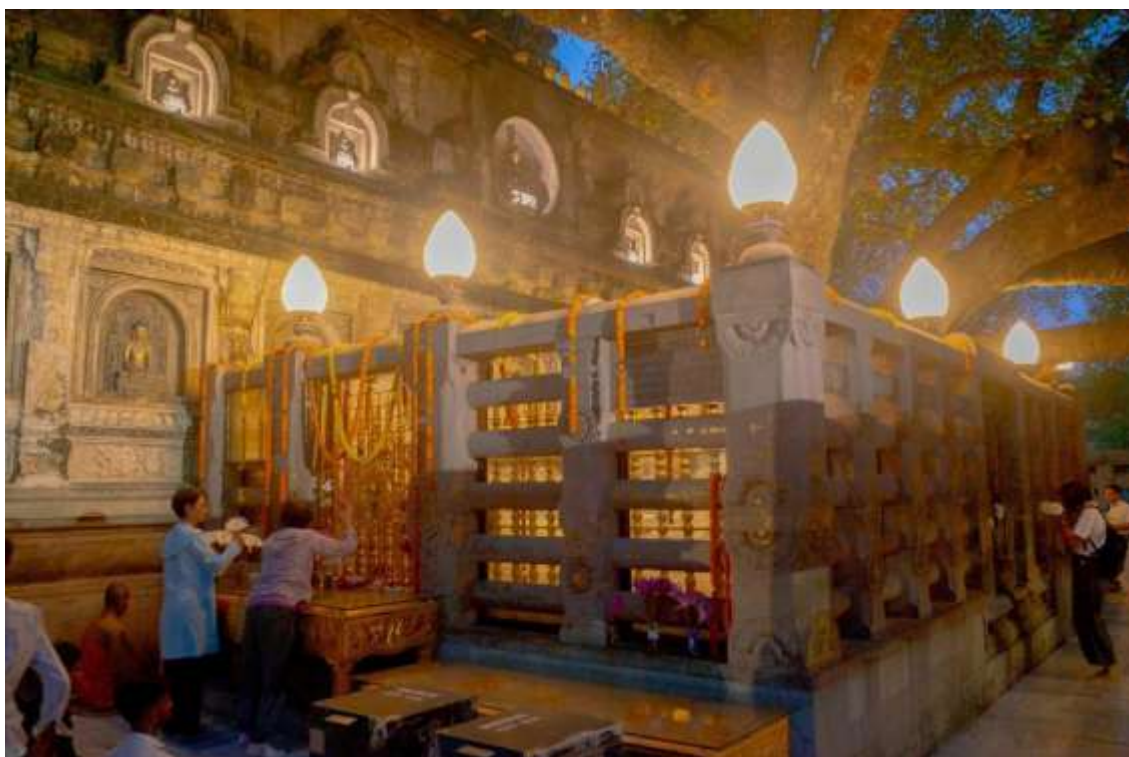
そしたら、民衆が大歓声上げてとても感激していました。何故かと言ったら、そこは全ての地上で生まれた仏が宇宙に対してメッセージを出す聖地。で、スリパーダで私はお釈迦様の本当の足跡を秘密で見せてくれました。日本でも中国でも何でも、見せられない。最高の聖地で。そのあと、そこを管理しているお坊さんがコーヒーを飲ませてくれてね。まあ、そういうふうな、ここのお坊さんに私がカイルス山に3回行ったと言ったら、みんなショックを受けていた。それ程、夢のまた夢の事なわけです。私がやった事は。

Wさん「マハー・ボディー・テンプルにも足跡あるのですか？」

Iさん「一応、足のあれはあります。はい。」【本物はスリパーダだけです。】

見れない、普通。お坊さんも見れない。誰も見れない。

Iさん「マハー・ボディーのは誰でも見れますよ。先生の仰っているのとは違うということで…」



マハー・ボディー寺

結局、凄い事を行ったということで、わざわざ、私にお釈迦様の足跡を洗わせてくれた。だから、未だに日本では歴史始まって以来、誰もしたことない。見せないから。インドの人も知らない。誰も知らない。分かっているのは、そのごく一部の人達だけ。

まあ、そういうふうな、いっぱい、そういうふうな奇跡的な旅をしています。それで、最後に龍樹菩薩が2回目の時、出て来たから、Sさんをお願いして素晴らしい像を彫って…と言うのは、龍樹菩薩が海を見て瞑想しているのです。それで、一生懸命、洞窟探したけど無かったから、あの館を手に入れて、あそこに納めます。

だから、まあ、一回来てもらわなければいけない。たぶん、私はこれで、金で貼り付けようと思っている。まあ、ここも最初、もう30年前くらい前に来たのかなあ。まあ、何にもなくて、ちっちゃいゲストハウスがあって、マハー・ボディーのスリランカのお坊さんがもの凄く親切にしてくれて、本当はVIPしか泊まれないのだけれど。私を接待してくださって、それからチベットでも非常に大切にしてくれて、ずっと…まあ、行く先々で素晴らしいお坊さん達が接待してくれてね、ずーっと。比丘でも、それから在家でも関係なく。それで、やっぱり、過去の因縁が非常にあって。

カクサンダ仏陀の遺跡

今度、カピラヴァストウ Kapilavastu に Kさんがカクサンダの遺跡があると。そこで生まれたとか。まあ、これは凄い。私はカクサンダ様のおかげで法の道を進むことができて。で、そこはコーナマガ、それからカッシャパ。カッシャパ様はバラナシ Varanasi で生まれた。で、ゴータマ、今のお釈迦様もカピラヴァストウ。3人生まれている。凄い所で。



カクサンダ仏陀の遺跡



遺跡の側にあるアショーカ王が建てた石柱

最初のカクサンダ・ブッダのお寺はミャンマーにあるのです。そこを訪ねて、凄い所でした。そういうことで、今度、普通の八大聖地ではないわけ…と言うのは、ほとんどの人は『Buddhavaṃsa』という経典を読んだことがないと思う。そこに綺麗に書いてある。

ディーパンカラ・ブッダから授記を受けて、そのあと、次から次と全て授記を受けてきている。1人ではないわけ。で、その事ちゃんと書いて、その時の感想も述べられているわけ。で、1人1人、その時の生まれたお父さん、お母さんの名前もちゃんと書いてある。書かれている。

先祖供養の大切さ

だから、今回最後にバラナシに行ってご先祖様、お父さん、お母さんを供養するという事は人間として生まれて当然の事であるのに、今それを忘れてしまっている。という

ことは、凄い悪い saṃsāra に入っていくしかない。全て因縁の世界だから。因縁を無視した場合には、この anicca 無常、dukkha 苦、anatta 無我のインドラの罠から抜けることはできない。大梵天。



バラナシのガンジス川

まあ、そういうことで、何故かと言ったら、この DNA は無量の仏の力で出来ている。全ての生命体は無量の仏の力でこの地球に生まれてきている。1人の神で出来ているわけではない。だから、covid19 でファウチがこの DNA を改ざんしようとしたでしょう。実は、改ざんしたわけです。ずっと前に。エイリアンと言われるアヌナキの時に改ざんしている。で、それで滅んで、今から 10 万年か分からない。で、エジプトも改ざんして、それが滅びてしまった。ちゃんと、エジプトの寺院に 彫刻しています。

それで、何故このインドでは牛を大切にするかと言ったら、本当の牛は人間より頭が良い。未来もみんな観える。で、それはヒマラヤの山に住む。だから、カンボジアとそ

の昔、タイが戦争した時に牛が人間の言葉話すわけ。ダダダダと。で、全てどうしたらいいか教えるわけ。人間以上のスーパーマンの生命体の牛で普通のとは全く違う。インドでは牛を殺したら人間を殺した以上の罪になるといわれています。



インド・スジャータ村の牛

牛を殺した場合には人間以上の罪がある。というふうな繋がりがみんな分からないんだけど、かと言って、ここでは肉食べる必要ないけども、高いチベットでは、お坊さんはみんな肉を食べる。プロテインが無ければ体が持たないから。まあ、そういうふうに、だから、お釈迦様は一切、何を食べろ、何を食べちゃいけない一切言っていない。所変われば品変わる。北極の方ではアザラシを獲ってその血を飲まなければ、死んでしまう。そこには最高の vitamin とか薬がいっぱい入っている。マイナス 70℃、何もない。

でも、私達は生きてゆくという凄い DNA。そういうことで、今回の旅よく来て下さいました。ただ、お経の説法での旅ではないわけです。実態を体験して、カクサンダ・ブツダからの教え、無量の時間帯。今現在のお経の世界ではないわけ、絵空事の世界ではない。本当の宇宙の真理の旅が皆さんこれから始まる。まあ、そういうことで。最後のバラナシまで行って、ご先祖様を供養して。それはね、でっかいお城の様なお墓作るよりも高德があります。日本の人が旅もしないで、お経を読んで、はい、それでおしまい。後は、何にもなし。何の事かさっぱりわからない。



ガンジス川の先祖供養へ

Aさん「でも、先生、質問ありますね。でも、私の国だったらね、あれヒンドゥーとか、こうやってきたから、これで…なんか、牛の肉食べていけませんとか、そういうことありますね。」

はい、それはね、事情があって、インドでは良いのだけでも、Siberia シベリアとか北のロシアの国ではそういうトナカイ食べなければ生きていけない。だから、ただ殺すのじゃない。神様から命を頂くという意味で肉をいただいております。ただ、殺して食べるんじゃない。それで、アメリカインディアンも狩りをする時は神様にお願いして、その時に獲物が現れたと。

それで、ちょうどラーヴァナ(ラーマーヤナの悪魔の大将)が自分の命をとってくださいとラーマに言ったような状況が発生しています。だから、深い、深い意味があるわけ、1つ1つに。で、北極のグランドチーフが私にお話しました。車をこうやったら、Alpha wolf 群れのリーダー狼が出てきて、車で当たって死んだわけ。そしたら、その死んだAlpha wolf がね、私を高い丘の上に捧げて下さいと。一切爪も何もとらないでそのまま置いて下さいとお願いするわけ。

というふうに、今でも人間界の心の発達した人はそういうふうな霊と話ができる。今の日本の大問題は日本中が黄泉の国に行けないで、もう日本全国が、幽霊がいっぱい。いっぱいおる。供養できない、供養できていない。全然していない。だから、それが取り憑いてみんなおかしくなる。それは薬でやったって何も分からない。力のある人は分かる。

だから、インカのアンデスの山ではそういう行者がおってね、大体女性です。昔のそういう行者は全て女性なのです。天照大神で火を見る神輿。そして、アンデスではそういうふうな悪霊を集めて袋に入れて、それで禍いが起こらないように今でもやっている。私たちは非常に危うい所にいる。それを無視した生き方で創り上げた儀式だから。

危うい世界

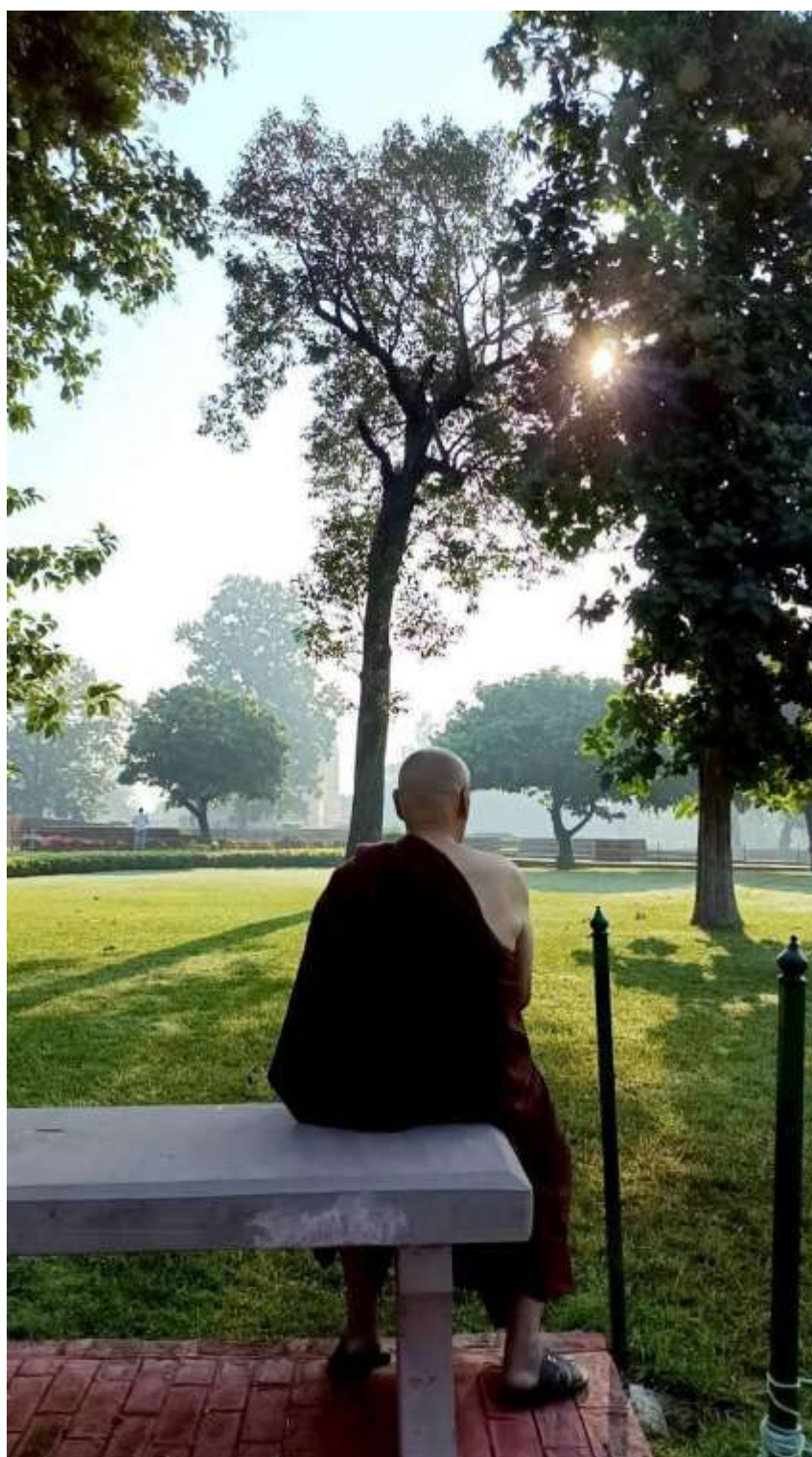
結局、ヨーロッパがあれだけ発達しても今、原爆戦争をやると。国が無茶苦茶なわけだ。で、アメリカには数知れない 4000 万人のストリートピープルがいてご飯も食べられないで道路に寝ていると。それで、仕方がないから、今ロシアを攻めて行って 72trillion dollar 兆ドルの資源をとろうとしたけれど、今負けて。

それで、今度はベネズエラの世界最大の石油の油田を取りに行くと、空母 4 隻。ところが、すぐに中国が入って、新しい原爆じゃないけど、そういう物質があってね、2kg でたしか、原爆の 10 倍の爆破があるから、それ 1 発、空母に当てたらそれでおしまい。4 隻、爆破。そしたら、一瞬にしてこのヨーロッパの 500 年の歴史は消滅。

今度は、今まで 500 年、人を奴隷にしてやったこのシステム、全部皆殺しになるのは当然。だから、それを頭の良い人はストップしている。逃げた。世界でもうそれはバレバレになったから。今は中国元にオーストラリアも変えなきゃいけないし、商売する時はもちろん、日本も変え始めて、米ドルをみたら今度紙くずになり始めている。でも、過去のシステムがあるから一変には消えないけど、徐々に、徐々に。

だから、その間に皆さんは自分で処理する。食べる物が 1 番大切。それで、私が言ったでしょう。投資は金、銀。その時は私はビットコイン買ってただけども、その時の値段は、皆さんは私が失敗したら大変な事になるから、安全な Ethereum を、あの時は 2 万円が今、もう 25 倍か 30 倍近く。莫大なお金。

それで、XRP もそのまま順調に、誰も損していない。というふうな、お坊さんはそこまで見なければいけない。それから、体の事もどういふふうな物を食べれば良いかと。山に上がれば全て薬草があるから。あとは、昔の知識をちゃんと持っていたら、それだけで健康体。あとは、瞑想をちゃんとしたら、間違いなく順調にこの悪世の世を通過できるはず。まあ、そういうことで。



サールナードにて

特別な料理

それから、私はここのご主人に特別なバーベキューをお願いしました。と言うのは、エジプトに行って分かったんだけど、この羊の料理は非常に難しいんです。で、この、インドの料理方法は素晴らしいもので、ギリシアの料理と言ったら、まず羊なんですよ。



宿の主人がもてなしてくれた山羊肉料理

その上です。それで、その上がエジプトのバーベキュー。羊。それは、まあ、超ラッキーで食べて、ここのご主人が、お願いしたら、今日は出来ないけど明日は出来る、というふうに、品物を選ばないといけない。ただ、焼くんじゃない。で、私はもう予定して頼んで食べるんだけど、記念に食べたい人は申し込まなければ食べられない。非常に微妙な調理方法で…あの、中国では二大バーベキューあるのですよ。1つはシンジャン Xinjiang と言ってトルキスタン。ホータン敦煌あるでしょう、お寺院の群立。そのエリアの料理の手法と。一つはコーリヤン・バーベキュー。2つあるのです。でも、このエジプシャン・バーベキューはそのずっと上。やり方が。やあ、これが太古のエジプトの最高のもてなしなんだなあ。

Aさん「先生、2つのどちらが美味しかったのですか、肉は？」

肉は mutton、羊。ネパールの人は私にわざわざ、1週間に1回、羊の肉を煮て捧げる。

Aさん「普段、山に住んでいる人？」

はい。そうです。

Aさん「ああ、よかったです。よかったです」

それも美味しかったけど、ここで私が体験したバーベキューを食べたいって言う人は…それで、その時は、ここは beer とか無いから、まあ、Spriteか何か。まあ、そういうことですね。

Aさん「先生、もう一つ質問したい。今日は、日本のお米の事は、今、お米あんまり無いと言っているのですね。どうなるのですか？」

なんか、あれは国で統制しているという話。

Aさん「私はニュースで見たら、日本で困っているんですねって言っているけど、それは本当のニュースですか？」



インドの田園風景

いや、それは政治的な問題で、結局、インドでは1キロ89円なのですよ。ところが、日本では1キロ800か900円くらいなの。それは国の統制で決めていることであって、実際の価格ではないわけです。と言うのは、ここは二毛作ができるし。

ところが、結局日本は騙されて軍事費に何百兆円とアメリカにやっていたわけ。だから、お金が無いから国民から…、戦後私達が一番苦労したのは食べること。それをまたやっているわけ。ところが、民主主義というのは無いのですよ、実は。みんなを化かしているだけで、で、人気取りやって、蓋を開けたらゼレンスキーみたいに国潰す。トランプももう滅茶苦茶やって今はもうどうなるか分からない。全ヨーロッパもそんな感じで、騙し合い。だから、自分の事は自分で守らなければ。

だから、私は若い頃から哲学クラブの部長やっていたから。日本ではここ一つこう、頭を取る。私の場合は、そういう眼がちゃんと備わって、それにカナダでライブニッツ数学、微積分、もう一つはケンブリッジ大学の微積分。その根底を習ったものだから、一瞬にして未来がみえるわけです。スーパーAIより速い。

だから、それと仏教がピタッと、仏教はその先を行くから数学やめて仏教に入る。仏教の深さは凄く深いから。だから、今AIでやっても、今の心の状態では昔みたいに必ず崩壊する。出来ない状態。ということはちゃんと分かる。一番良いのはこつこつと一人で、不修善。見たでしょう、乞食。あれはパオの長老がお金やるのやめなさいと、放っておきなさいと。

これは国がしなければいけないのです。それは温情でね、愛と慈悲とその上のベートーヴェンの歓喜、その上のウペカーという世界が通過するには、その小さいカルナーだけで通過できない。まあ、そういうことで、せつせと自分を磨いていくのが一番正しい。まあ、山に入っても何しても温暖な所が必要。だから、クワンドン 広東、結局、東広州。あそこに慧能大師様がいて瞑想が良く、熱が必要なのです。ずうっと、ずうっと。寒い所では非常に難しい。まあ、そういうことで、だから、ベトナムの人も来ていたでしょう。十八阿羅漢、アラハト。まあ、私が30年以上に見たブッダガヤと今は天と地の差。私はただ一人あの木の下で坐れたのだけど笑今は鉄柵があつて坐れない。まあ、そういうことです。



ブダガヤの菩提樹の下



靈鷲山にて

何処かのゲストハウスにて

Sさん「結局、このまま進んだら、もう全部 AI がコントロールしてしまうのですかね？」

まあ、そうだね、人間が要らないから。ところが、人間が要らなくなったら、社会が全部潰れる。社会が潰れたら、結局、人間は原始社会。人間は普通に自然との共生すれば、しあわせ。

Sさん「でも、インドの人達みんな、こう地に足をつけて、ちゃんと、ちゃんとか現実世界に生きている」

うん、そうそう。

Sさん「こう昔ながらの生活で」

そう、そのままの戒で。

Sさん「うん、インドはもう大丈夫。日本はこう、ちょっと危ういですけど、もの凄く…」

そういえば靴、これが非常に病気の問題。

Fさん「みんな裸足ですもんね」



裸足の秘密

だから、私がミャンマーの僧院で修行した時、私の 90 のお爺ちゃんは今だに元気でシャンと歩きました。どうしてって言ったら、「いや、うちのお爺ちゃんは絶対、靴履かない」って。裸足で歩くと。それで、私もミャンマーの僧院では裸足でいつも歩いていた。

そうしたら、僧院は綺麗でしょう。うん、歩いて出来るの。ところが、一般のこういう所で皆さんが真似したら危ないと思う。それに、ミャンマーの人はお坊さんが歩く所は、石とかそういう瓦礫、全部拾って非常に歩きやすい路地。だから、まあそういう所が無ければ砂浜でも歩くこと。この足の靴を履くというのが殆どの病気を発生させる。だから、日本の下駄が、あれが最高。草鞋。みんな今は逆をやっている。

F さん「結局、本当に裸足が一番ね、あの、ブッダガヤで裸足になるじゃないですか。あの大理石のあの感じて言うんですかね。たまらんな！って思っていましたけどね。忘れない、あの感覚」

昔はほとんど、江戸時代までは日本中でみんな裸足だった。で、町に出る時に草鞋履いたり、下駄履いたりする。まだ、それは良いけれど、靴になってから、それで非常に体をおかしくして。長生きはするけれど、病気だったらどうする？ 笑。長生きして私みたいにスタスタスタと歩けば良いのだけど、やっぱ、坐禅やっているから。普通の人、しないから。それに靴履いていたら、益々…二重、三重の苦で、薬漬けになって。



水源先生と歩くインドの子供たち

Fさん「先生、本当に犀の角みたいに歩くので…あの、笑 犀の角みたいにスタスタ歩いてて。経典にあるんですよ。お釈迦様が犀の角のように歩めって凄く有名で、まさに笑 まさに犀の角のようにズンズンって歩んで行かれるなあと」

ああ、そうですか。まあ、それは、えーっと…

Wさん「意外と速くてね」

Fさん「そう、そう。なんか、しかも、ほんと犀みたいにズンズンって笑」

Wさん「お母さん、お母さんがついてくのやっとなで」

Fさん「速いし、何かズンズンって笑」

やっぱり、坐禅していなかったら、その…だから、この坐ると、脚を曲げるということは凄く良い事で。それが分かったのはやっとの最終、ずうっと20、30…これをやることによって、あ、血管でずうっと垢を流して。心臓から、何から。



祇園精舎にて

断食は週に一度で十分

若い時から一週間に一回は、断食。自然と食べないで、じーっと。そうしたら調子いい。結局、断食するというのは、食べなければ調子いい。一日。一週間に一回だけ。それで、食事自然と昼前は食べるけど、午後からは一切食べない。それも調子がいい。

そして、よくみたらお寺は本当にそうなの。それで十分なの。こういう長旅だったら、いっぱい食べなければ体力持たないけれど、普通の場合はあんまり無理しないで、あれ、食べ過ぎているのは病気。それで結局、昼から次の日の朝5時くらいまで食べないから、お昼から12時間プラス5時間だから、17時間くらいお腹がゆっくり遊べるわけ、働かなくて。

Fさん「その研究をされている人がいて、日本人なのですが、12時間空けると、なんか潜在能力が活性化するっていう。しかも、ノーベル賞か何か取っているのですよ。日本人の論文で」

いや、それではなくて、胃あるでしょう、ここには大きい秘密があつて。何故かと言ったら、ヴィパッサナーやっていて、生命体はどういうふうにいるかということを観させるわけ、自分の命の法。そしたら、エネルギーが無ければ、自動車のガスと一緒にのこと。

それで、エネルギーはどこで発生するかと言ったら、食べるでしょう、食べて栄養ではないですよ。この、食べて胃の中で、その下に原子炉みたいな火がある。原子炉みたいな火があつて、それで何て言うのか連鎖反応するわけ。連鎖反応して、だいたい私が観たのは、1回、2回、6回。6回、パパパパパってこれがエネルギーで全身回している。

だから食べるでしょう、エネルギーがあるでしょう。それが1人ではなく、こう、この火、この不思議な火があつて、原子炉みたいに。最初原子炉も火がなければ発生しないのですよ。それで、それが第1回の分裂。2、3、4、5、6まで私観ている。で、ちょうど原子炉と一緒に。仕組みが原子炉と一緒に。

Fさん「さっき、Sさんと坐ってたんですけど、本当この辺に火がついて、どんどん上がって来るんですよ。で、ここぐらいで、まず本当にエネルギーが来て、これはちょっと中断したんですけども笑」

Wさん「ごめんね」

F「ここまで来て、もう凄いよ。もう汗だくで、僕」

私たちの身体はミラクル

だから、宇宙の最高の原子炉は私達の体。動物も。全く未公開。だから、私達はもう滅茶苦茶やっている。でも、ヴィパッサナーやってその教科やるから観えるわけ。で、なんぼまで発生するか、ダーツと。体験しなければ絵空事で誰も信用しないけれど、やっぱり、私だけではなく沢山のお坊さん観ています。奇跡的にそういうお釈迦様の教科がミャンマーに残っていたわけです。まあ、チベットもあるかも分らんけど、非常に高い高僧でもその教科は私達にないって言ったと思う。

だから、この体は本当にミラクル。で、この力によって宇宙の秘密のドアが開(あ)いていくのだから。時空を超えていく。本当もったいないこと、精神修行しないなんて。余程おかしいよ、私達は。という、言える立場なわけです。前は分からなかった。死というのはないの。死ぬということ無いの。ただ、生まれ変わるだけで、どこに生まれ落ちるかが大切。だから、その行法もやる。どこで生まれるか観なさい。いつ死ぬかも。それ全部言う。そのくらい、お釈迦様凄い。



スジャータ村の遺跡にて

兜率天に行きたい

Fさん「すみません、先生、先生の後について兜率天に行きたいんですけど、どうしたらいいですか？ 笑」

簡単、簡単。非常に簡単。私、説明したはず。あの、女性はね、よく悟り開く。それで、何故かと言ったら、仏壇を綺麗にするでしょう。花飾るでしょう。その高德だけで、女性の方が精神的に進化するのです。

Fさん「ありがとうございます」

それで、兜率天に行きたかったら、弥勒菩薩を心から尊敬して拝むとか、それで、そういう行をやれば必ず通す。

Fさん「ありがとうございます」

たしか、その行き方教えたはずだけど。

Fさん「はい、仰っていました。全く同じことレクチャーされたんですけど、やっぱり直接聴くとボーンと来るので」

ああ、そう。

Fさん「やっぱり、違うんですよね。なんか他の人…法話集とかで聞いても、あれなんですよ…やっぱり、直接質問してやられるとグサッと刺さるんです 笑」

一番不思議なのは、私みたいな在家の人がこんな話するけど、プロのお坊さん、全然しないというのは、これどういうことなのかと、私には理解出来ない。本当に何をやってんだか 笑 どう思います？

Kさん「うん、まあ、謙遜ですよ」

凄い御殿はいっぱいつくるけど。まあ、そういうことで。じゃあ、皆さんもう寝ますか。じゃあ、質問があればどうぞ。なんと言っても本当に奇跡の旅、本当に。何回も言うけど、行けば行くほど凄い映像がどんどん、どんどん出て来る。

Kさん「これは来てみないと絶対、誰も分からないですね。ここに。この旅はここに来て、この旅をやらないと分からないですね」

分からない。

Kさん「100%」

Fさん「語り尽くせないです」

Wさん「お釈迦様が涅槃に入られた所は何て言ったらいいんでしょうね。こう、お釈迦様がずっと、皆さんをっていうか、全生きとし生けるものを、こう見守って静かに、静かあに、こうなんとも言えない、こうね。静かな中でね。その静けさが、ね、あそこに行つて、はあ、その安らかなっていうのが。こういうことが安らかなんだ…」



クシナガラ

私がずうっと若い頃、不動明王様は心の層に住むと。心の深層に住むと。どういことかなあと。仏界のこと。仏界。佛の世界。だから、全く影響されない。だから、そこに、お釈迦様は行きなさいと。じゃなければ、無駄なことばかり。

Fさん「僕、おばあさんが京都にいて、おばあちゃんが京都にいて、凄く良くしてくれたおばあちゃんだったんですよ。で、臨終にも立ち会えないし、お葬式にも行けなかったんですけど、僕凄く心配してたんですよ。好きだったから。で、そのあとに聞いたのがずうっと最後、お地藏様をぴかぴかにするみたいなことをされていたらしくて、凄く安心したんです。あーっと思って。そういうことだなと。なんか凄く安心したんですよ。いつもこう、可愛がってくれてて。声が聞こえるぐらい」

Wさん「いるかもしれない」

Fさん「笑 可愛いがってくれてた人で、どうなったのかなと思ったら、そういう話を、最後なんかそういうことずうっとやってたっていう方で。あー、良かったと思って笑 なんか知らないけど」

Kさん「先生も在家で修行されて、空観を得たという。チッタヌパッサナーで空観を得て、在家で僕達と同じような状況でそういう空観得て、僕が思うのはなんか、最近修行

してて、どうも、まあまあ、めちゃめちゃまあ気持ちいいし、エナジーもあるし良いけど、やっぱり何かこのダラッとやったら駄目だなというのをめっちゃ感じるんですよ。で、一気にやっぱ集中してやったり、多分、無所得、無執着を完全に日常でクリアにして突っ込んでいく！というか、まあまあ、手放していくのが肝かなって思っているんですけど、先生何かそのへん…」

いや、私は会社勤めている時は最初の頃時間があるわけじゃないから、一日 30 分だけ。無理しない。でこの… なんか、欲が出てきて、長いことしたいという、なんか自然に出て、さっき言ったように真夜中起きて、朝方瞑想している。そしたら、ますます気持ち良くなる。で、そういう基礎体験があるから、パオでみんなショックを受けました。私のスピードは超特急だって。誰もこのスピードで出来ないって。それで、やきもち焼かれるわ、先生から疑われるわ。その、経典見てどうのこうので。笑 それで、おまえはチベットで生まれたなんとかって。そんなことまで、まあ、ここに長いこと居たらあかんなあと思って、早々と出て行って。出ていく一って引き止められて。

F さん「笑 そういうことだったんですね、凄いなあ」

K さん「やきもちがあるんですね」

F さん「カッコいいなあ、ほんと。そういう、ちゃんとバックグラウンドがあったんですね。なんか先生が縛られたくないっていうのもあるのかなって思っていたんですけど、そういう…」

いや、良い人もいっぱいいたけど、やっぱりパオと言えばミャンマーのナンバー1のお寺で超有名で、でそこで、そうしたら遠い村からやって来た…「おまえは凄く修行進んでるんだってなあって、もう見て噂になってる」って。そこにいたら、やきもち焼かれるわ、嫌でも。私、そういうの好きじゃないから、そうと言うと、先生がもの凄く、出ていくな一って言う…。

F さん「笑。出て行くな一って」

いや、でも、じゃあ、ここ、ここ、ええ、えーつとエステイマガという。Vipassana の上。エステイマガという。のエリアの、その質問に先生が答えてくれたら、私居ますと。

K さん「あー、仰ってましたね」

で、3 日、時間くれって言って。というのは、パオサヤドーに電話するって。いや、私、即回答しなかったら、あ、分からないんだって、そういうこと。

F さん「笑。凄いな」

そこまで言えるのは、やっぱり印幻先生の神髄をただ、自分、自分じゃない。先生の教

えられた本当の道をちゃんと観ているから、本当に分かるんだったら、これ解答してくれと。教科書のあれじゃないと。

あ、違う、みんながびっくりしていた。ダーツと言ったら。じゃなきゃもう、そこにいて出られなくなる。

Fさん「ちなみに、先生、その質問した人って他にいらっしゃるんですか？その、パオ出て行く時に問答して、質問を誰か他にしたことありますか？」

【誰もいません。】

他の先生はミャンマー語で英語誰も分からない。それも、その英語も分かりにくい英語でね。何回聞いても分からないで、イギリスの医学部に勤めていた教授がね、「何を言っているの？」って、「実はこういうこと」、「ああ、そうか」って。それくらい、こうインド英語も変でしょう。聞き取れないし。それぞれ国によって英語が変わっていく。使えるもんじゃない。ま、でも、何とか。そこを出たから今があるけど、そこにいたらもう捕まって出てこれない。

達磨大師さまも龍樹菩薩さまも生きている

と言うのは、あっち行って、こっち行ってって。仏法というのは本当、想像を絶する。だから、ウ・コビタさんが今 1060 歳くらいになっていると思うけど。そしたら、ボディダルマさんは死んでいない、どこかいる。龍樹菩薩様も肉体は無いけど生きている、ちゃんと。

【ヨガの大先生は肉体を離れて生存しているらしい、時には肉体で現れるそうです。】

Sさん「涅槃に行っていないってということですか？」

うん、死んでない。だって、龍樹菩薩の舍利どこにあるか分かる？だーれも知らない。生きている。アーナンダ様はみんなの前で、死ぬ前に自分の肉体を川の上空で自分で燃やして舍利を川に落としたり、人が争いを起こさせたくないから、どこかその間の川より集めた舍利、川の空中に上がって体を全部燃やして消滅して、涅槃に入った。それに、虚雲先生の弟子ね、阿弥陀様を一生懸命、唱えるけど、最後は光になって全身燃やして涅槃に入った。それで、先生が、他の人が何か言って、「火事だ！」と、「いや、黙っている」って。「そのままにしとけ！」って、そう言う。

Fさん「そういう時って周りが、慧能様とか真っ白になったんですか？木とか…」

ああ、そうそう。お釈迦様が…沙羅双樹が真っ白になった。そういう聖者が涅槃に入ったら、弘法大師様の時もそうだよ。だから、そういう凄い行者があれば、慧能様の時も木が全部、真っ白になった。で、弘法大師様の場合は三日三晩かな、まあ、そういうふうな。凄い話ばかり、実は。

Sさん「その、涅槃に行かない理由は何ですか？弘法大師様とか、カッシャパ尊者が涅槃に行かず、ずうっと生きている理由。」

いや、その辺りがね、その、仏界とこの世は違うということが問題なわけ。だから、仏界に入ったのを涅槃と言う。お釈迦様も消滅って言っているけど、あれ嘘で、言ったでしょう、私の家が洪水に遭った時に南の方に仏が現れて宝生仏かなと思ったら、南はお釈迦様のポジション。それで、お金がドツと入ってきて、湖のお寺出来たという。だから、そういうふうになんと力持っている。一般には、それでお終いだっただけ、違う。だって、今日だって瞑想しとったら、パツ、パツ、パツ、パツってこう金じゃなく、普通の人間だけど、仏まで出てきた。

Fさん「生身の人間ですか？」

生身の人間の映像だね、やっぱ。

Fさん「そうじゃない時もあるんですか？例えば…」

いや、今回は初めて観たけど、ほとんどそうだったよ。

Fさん「生身の？」

もう、パツと出てそのまま金に変わった。

Fさん「そうじゃない時もあるんですか？」

いや、今まであんまり。今回来て初めて。

Kさん「Wさんもそういうのいっぱいありますか？」

Wさん「先生みたいに、はっきりじゃない。ポヤツと」

Fさん「先生、Buddhanussatiをされて、Buddhanussati、法随観でブッダの瞑想した時に観えた時は生身ではないんですか？」

生身だよ。でも、その映像ではちゃんと歩いてた。だから、この世は訳が分からない。で、同じ色があって。で、衣の中から金色の光がピカピカ、ピカピカ。で、白人で荘厳な聖者でした。

Fさん「やっぱり大きいんですか？」

大きい。比較するもの無いし、ただ観ただけだけど。

F「僕、先生って、僕より身長小さいんですけど、僕より大きく見えるんですよ。そういうことかなと思うんですけど、どうなんですか？ 笑」

いやあ、大きい方だと思うよ。



ブダガヤの彫像

頭頂部の盛り上がり

Fさん「凄く、先生大きく見えて。先生のこと、大っきく見えるんですよ 笑」

ああ、ふーん。

Wさん「3ヶ月、ほら、ネパールでワサ 雨安居 終えて、ご自分が鏡の前で映るところ（頭の骨の繋ぎ目部分）がポッコリ、より…膨らんでいる、ここが…」

ここまた、ポコっと出て。

Kさん「確かに。出てますね」

Sさん「そこ、先生、穴はあいているんですか？」

知らない。

Fさん「あれですよ、ゴエンカさんの所でここすごく大事にするじゃないですか。ここ、いちばん、唯一繋がっていない所だって言って、そこ大事だから、みたいな」

Wさん「特に、最初。うん、スタート」

そうか…

Sさん「出てくるんですか？」

Wさん「修行すると、お釈迦様もね…」

Fさん「盛り上がる」

Kさん「盛り上がる。ああ、ああ」

全然、何も無いよ。ポコっと出てると。

Fさん「だから、僕、父、カイロプラクティックで、ここね、つまんで開くと眼圧が下がるんですって。そうすると、すげえリラックスするの。分かるんで。ここ、頭頂でこう割れてるなみたいな所をこうクッと開くとすごいリラックスする。何かありますよね。何か 笑」

ゴエンカさんの場合は確か頭の中、ここから入っていくからでしょ。

Wさん「スタートがね」

エネルギーで中、観て。

Kさん「先生、シバ神のお魚のお話あったじゃないですか。あれは、何だったんですかね、結局？」

シバ神の魚？

Kさん「魚を頂いたって、なんか言ってませんでした？」

ああ、瞑想していたら、8月21日辺りだったけども、シバ神が出てきて、私の口に一切れの魚をポッと入れてくれた。それで、私だけ食べるのはもったいないからと思って、口の中の魚をありとあらゆる生命体に、心の中で一中一切やったの。

Kさん「それを頂きましたからね。それを、その魚を僕らもいただきましたからね。笑 うちそうさまです」

そういう凄い聖なる偉大な方から魚を貰ったから、自分一人だけで食べるのはもったいないから、一中一切というのをやったわけ。人間だけじゃなく、ありとあらゆる生命体と一緒にいるあなた達。だから、一般の人は「あっ、シバ、シバ、シバ」って分かってないって言っているの。だから、そういう精神界の世界があるという…私達、人間だけの世界じゃない。特に、宇宙人もゴロゴロしてるという。何してるか知らんけど。悪いことしてるんだか、良いことしてるんだか 笑、なんか知らんけど。

Fさん「良からぬ事してますよね。宇宙人は正直、良くない事してますよね」

っていう感じで…でも、宇宙人の報告みたら、お釈迦様の教えが、話が一番、正しいって言っている。だから、仏法はこの地球だけじゃなく、他の宇宙の彼方でいっぱいあると思う。

Fさん「やっぱり宇宙人も法を求めているんですかね？」

法を求めなければAI生命体になって、ロボットになって、それで、その繰り返し。そこから出るのは非常に難しい。死なないから。死ぬ前にそのデータを他のチップスに移すから。ロボットにすぐ移してしまう。次から次へと。だから、南極がそうなんだよ。南極は2億3千万か6千万か…あ、もっとだ、2600億年か。うん、億年。で、アメリカのNavy Sealsがそこに入ったんだって。そして、ドア触ったら、巨大なドアがスーッと。で、中ずーっと入って行って、地下2キロ、ずーっと建物、下まで巨大な。そしたら、その、ある大きい空間があって、天井がちゃーんと柱も無いのにあるんだって。

で、その壁は大体、一尺四方、最も硬い石で、ちょうどマヤ文明のあの形と、このインドのこのサンスクリットを混ぜたような言葉で、大体5センチの深さで彫ってあるって。延々と。で、歩く所は光が自動的にサーッと。そう言っているよ。本当はこれ発表しちゃダメなんだけど、そのNavy sealsの人が特別、Linda Moultonという人に報告して、その人が発表して、この人は私、過去実際に会ったこともあるし、30年、40年、ジャーナリ

ストしてそういう事発表してる。

Fさん「YouTube に上がってますよ。全く同じで、先生が言っていた事と同じだと思って。都市伝説扱いなんですか？記録に残っているんですか？」

だから、地球の人類史というのは私達ではなく、ずーっと前から前から、全てこの地球の歴史がそこに彫られている。それがやっぱり、お金のある権力ある人達は私物化して、一般の市民はこれから35年か南極に行っちゃいけないという法律がある。世界的に。だから、調査なんか出来ない。

Fさん「その軍人さん、なんか口止めされて島流しにされてるんですよね。生活費は払ってもらえるんですけど、絶対、言っちゃダメだっかって、結局イギリスかどっかまで島流しされて、その手記を最後に発表して死んでいるんですよね、たしか」

まあ、そういうふうな話と、この仏法のこの偉大さは、それを数億倍の素晴らしさがあるから。で、機械だけでいくらやっても、全部おしまい。

Hさん「35年南極に行けないっていうのは、いつからですか？」

あれはね、ヒラリー・クリントンとトランプが選挙やる時、その時、誰だったっけ、誰だったかな。あの一、国務長官のジョンケリーだったかな、忘れた。その人が選挙のその投票日のそのあたりに、南極に飛んでいったんだ。

それで、アポロなんだ、11だったか、その時の宇宙飛行士が連れてそこに。そして、その人が heart attack になって帰って来たけど、噂の話によれば、太古の非常に古い遺跡があるんだって、そこに。そこには、大体、突然シベリアのマンモスが死んだように凍りついた死体がいっぱいあるんだって。で、その服装はちょうど Egyptian の服装だった。ただし、身長は9 foot だから、2メートル70。で、アフリカには900体のこの身長の子供の遺骨があるんだって。

それで、アリゾナのグランドキャニオンに地下都市っていうのがあるんだって。仏も飾られて、仏も。で、私が数年前にアメリカ人に「こんなことして、こう仏に供養してやらなきゃ大変な事になるよ」って。「連れてってくれ」、「いやあ…」、なんかそこスナイパーがおって、なんか口モゴモゴしてたけど。

それで、そこにもミイラがあって、2メートル70。その当時は2メートル70の人類だったわけ。それに、ピラミッドあるでしょ。あの地下に、ギザのピラミッドに8本の柱があって、長さが2キロメートルか…で、その地下のベースの岩盤が70かける70の80メートルの大きい岩盤の上に作ってある。私がエジプトに行った時にすぐ分かるのは、これは人間じゃない。だって、もう間違いなく水平にダーっと積み上げてある。現在も出来ない。それがつい最近ヨーロッパの方の宇宙から地下を通すレイダーで見たら、2キ

ロメーターぐらいだつてよ、柱が。だから、今までの学説は本当に、ま、小学生の論文くらいで、現実とは全く関係ない。殆ど嘘ばかり。



騰騰不造悪

だから、そういうことを追跡してたから、ますます体験から、お釈迦様の教えね、ブツダの teaching が最も正しい。間違いない。これは超、結局、カクサンダブツダのことはこの宇宙が一回爆発して、また出来たか分からないくらいの時空だけど、お釈迦様はちゃんと自分の過去観えるから、カクサンダブツダがあそこで生まれて、お父さんは誰かちゃんと、Buddhavamasa にちゃんと書いてある。で、私自身もどれくらいの過去に戻ったか知らないけど、想像を絶する時空の彼方から来て、ずーっと、観えるの。だから、心というのは凄いもんだ。だから、騰騰不造悪 (とうとうふぞうあく) と。悪からは離れる、すぐ。逃げなさいって。そんなこと、簡単な事。

What I am saying and, our this life system is that impossible to understand long long time. You know. So that's why Buddha says please don't Make a bad thing. Because this continue, continue bad thing happen. If good thing, continue, continue good thing happen

.

Rさん「Same like this, I do continue good thing, I get continue good thing like to do. I do before, I do now, and getting more and more and more. This is what Buddha did it?.

Then, if Buddha says No, you don't follow this bad thing. You don't follow. Buddha says, you follow good thing Do good? Yes, good thing do please. 」 Yeah, same thing, yeah. (ヒンズー教も同じです。)

Rさん「When you see I am happy, I follow Buddha always. In my dream. And I follow always, not like to do. In my hostel I have Buddha. Always, yes! I love to meet Dalai Lama, all buddhism place. It is not because of tourist, because of my feeling. And doing good, I get it hard I get good one. Good feeling meet good people. It is important meeting good people working, then you meet good people, you automatically work more good. And you have good work with good, people and good connection you get in. And you get again work because of good people. Today you go, tomorrow it give me blessing. I will give you blessing,too」

Sさん「Good vision?」

Rさん「Yes, good vision. You bless. Wow, this voice is very nice. He's happy too much. Now, automatically go to listen Buddha. Third eye open. Everything energy come to me. Work again. It is because of you. So same and then you think what this voice doing? Oh, maybe, this voice same as me.」

Yeah, I expect to you do it.

Rさん「when you see from here, he is giving blessing behind of us.」

What I say, he says life is not only this one. Countless, timeless time. Long continue and appear.

Again next life coming. So all you do is good thing, this karma make good karma. So, and actually happen.

Hindu, buddhism no difference. But many Hindu priest misuse it. So they don't see past life. And Hindu must see the past life himself. And show how to see the past life

too. O.k? Otherwise, all ceremony, feel good. You donate money, you feel good. You did bad, maybe not. That's I say. That's he says. Everybody agree. See, that's why no sense to fighting Hindu or Buddha, No.

Rさん「Buddhism come from India?」

Yeah!, yeah...

Rさん「from Hindu. It's true?」 Yeah, true.

Rさん「Buddhism come from Gautama Buddha is Hindu.」 Yeah, Buddha, many many Buddha born in the India.

Rさん「And Buddhism come from India.」

That's why India is having very very special life. So that's why, and you don't kill the cow. Life has good, very good. People do not understand why. Because cow has so many secret thing they have.

Very very hard to understand. Yeah, so O.K. Maybe I'm tired, go sleep.



水源禪師法話集 130

(2026年10月インド巡礼)

2026年3月31日発行

編集兼発行 一乗禅の会